

経済学・経営学コースのカリキュラムについて

(1) 経済学・経営学コースの教育目的とカリキュラム

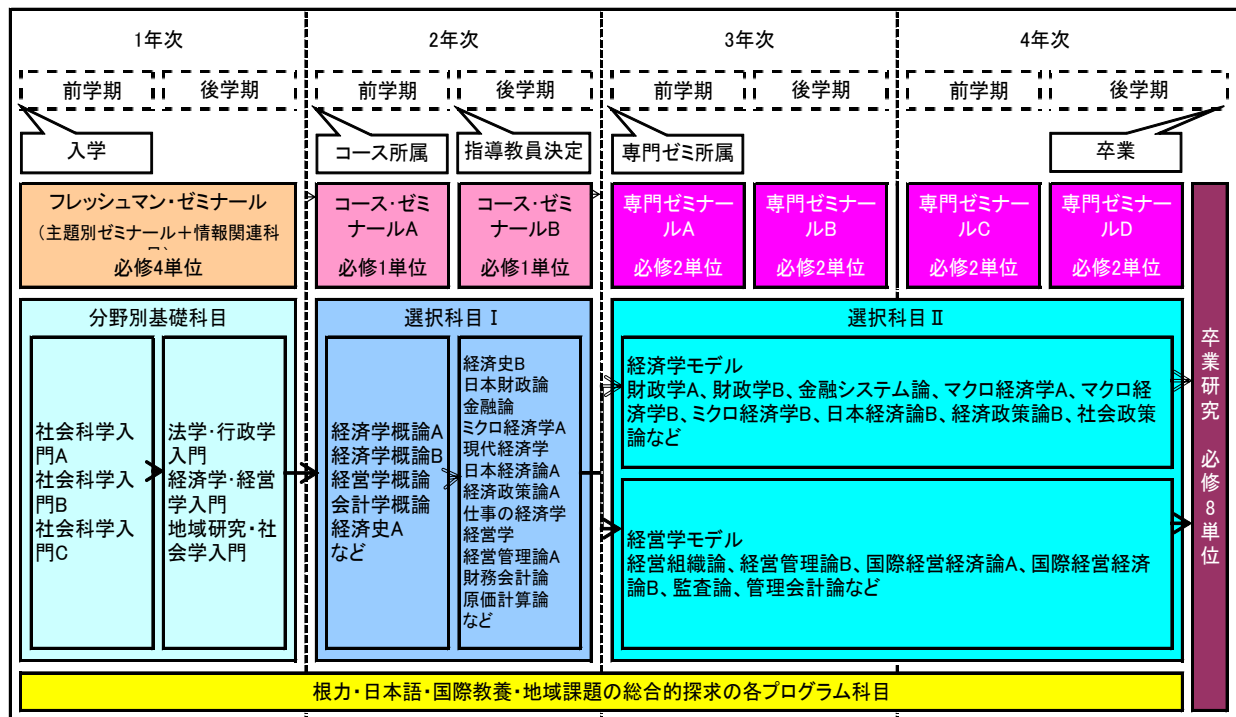
経済、経営、会計のダイナミックな働きと仕組みを理論と実践の双方から学ぶことによって、論理的思考力、課題発見・分析・解決能力を養います。

コース所属が決まった2年次前学期では、経済学概論、経営学概論、会計学概論と経済史を学習することで経済学・経営学の基本的知識や考え方を身につけるとともに、他の分野の専門的な知識や考え方を同時に学ぶことによってより広い視野を身につけます。専門ゼミナール所属が決まった2年次後学期には、経済学では理論と同時に、政策を含む応用経済学の分野を、経営学では経営管理論、財務会計論、原価計算論等のより実践的内容を含む分野の専門的な知識や考え方を、バランスよく、かつ順序よく学習していきます。また、前学期・後学期のコース・ゼミナールで、身につけた知識を応用できるよう訓練します。

専門ゼミナールが始まる3年次からは、経済学または経営学・会計学のいずれかのゼミに所属して、経済学を中心に学習するのであればマイクロ・マクロの理論、財政・金融・日本経済論、経済政策・社会政策などを、経営学・会計学を中心に学習するのであれば経営組織論、国際経営経済論、監査論、管理会計論などを主に履修しつつ、自分がゼミナールで専攻した分野をさらに広く深く学習します。4年次からは本格的に卒業研究に取り組みます。自分が専攻した分野の専門知識等を応用しつつ、かつ3年次までの経済学と経営学・会計学の幅広い学習成果を土台にして、特定のテーマに関する卒業論文を完成させることになります。

卒業後には、金融機関、メーカー、流通等の民間企業の財務・経理・人事・営業・企画部門などでの幅広い活躍が期待されるとともに、各種公務員や税理士等への道も開かれます。

(2) 経済学・経営学コースのカリキュラムマップ



※ 3年次以降の2つのモデルは、履修の具体例です。

(3) 経済学・経営学コースの学年ごとの達成基準及び対応授業科目表

		達成基準	対応授業科目
1 年 次	前 学 期	① 学科での学修に必要な社会科学の基礎的な知識や考え方を身につけている。 ② 学科での学修に必要な情報の収集・発信、議論などの基礎的な技法を身につけている。	① 社会科学入門 A・B・C ② フレッシュマン・ゼミナール
	後 学 期	① 社会科学の諸分野の概要を説明できる。 ② 学科での学修に必要な情報の収集・発信、議論などの基礎的な技法を応用できる。	① 法学・行政学入門 ② フレッシュマン・ゼミナール
2 年 次	前 学 期	① 経済学・経営学の主要の分野を中心に、様々な分野の専門的な知識や考え方を身につけている。 ② 経済学・経営学の学修に必要な専門的な技法を身につけている。	① 【選択科目Ⅰ】の諸科目 ② コース・ゼミナール A
	後 学 期	① 経済学・経営学の諸分野を中心に、様々な分野の専門的な知識や考え方を身につけている。 ② 経済学・経営学の学修に必要な専門的な技法を応用できる。	① 【選択科目Ⅰ】の諸科目 ② コース・ゼミナール B
3 年 次	前 学 期	① 経済学・経営学の諸分野を中心に、自らの専門分野に関連する様々な分野の知識や考え方を身につけている。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を身につけている。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナール A
	後 学 期	① 経済学・経営学の諸分野を中心に、自らの専門分野に関連する様々な分野の知識や考え方を応用できる。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を応用し、卒業研究の準備に取りかかることができる。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナール B
4 年 次	前 学 期	① 経済学・経営学の諸分野のうち、自らの専門分野に関連する分野の知識や考え方を応用し、学問的関心を深化させながら、経済社会や企業経営、会計をめぐる諸現象を説明できる。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を応用し、特定の研究課題についての探究を進めることができる。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナール C
	後 学 期	① 経済学・経営学の諸分野のうち、自らの専門分野に関連する分野の知識や考え方を応用し、学問的関心を深化させながら、経済社会や企業経営、会計をめぐる諸現象を説明できる。 ② 自らの専門分野に関連する知識、考え方、技法を応用し、特定の研究課題についての探究を卒業研究としてまとめることができる。	① 【選択科目Ⅱ】の諸科目 ② 専門ゼミナール D・卒業研究

※「フレッシュマン・ゼミナール」とは、「主題別ゼミナール」と「情報関連科目」を合わせた呼称です。